

# ファーストペンギン通信

第27号  
発行日  
令和3年3月17日(水)  
発行人  
八王子実践中学校  
中学部長 石川敦史



令和3年3月12日（金）、多目的ホールで挙行されました。次のような感染拡大防止策がとられました。

式次第の見直しで開催時間の短縮。出席者数の制限(在校生出席は2年生のみ、教員は中学部のみ、保護者は各ご家庭より1名ずつ、来賓も2名まで。その他の教員は全員オンラインで式の様子を見守りました。)

国歌、校歌、仰げば尊し、螢の光斉唱は演奏に変更。生徒は声を出して返事をしません。

## 式場へ入場

担任に先導されて、卒業生は入場しました。ちょっと緊張した面持ちでしたが、堂々と振

る舞い各自の席につきました。



開式が教頭先生によって宣言され、国歌・校歌の演奏を聞きます。次が卒業証書授与です。卒業生13名は一人ずつ呼名され、登壇し、校長先生から証書をいただきました。



## 学校長式辞

「これから幾多の試練・苦労に出会うだろうが、ひるんではいけない。それらを克服するたびに、人間は強くなっていくことを忘れないように。」徳川家康の例を引いて卒業生に強く語られました。

## 在校生代表の送辞

生徒会会長の□□さんからの送辞です。様々な行事での卒業生との思い出を語り、在校生としてのこれから覚悟を語ってくださいました。

## 卒業生からの答辭

卒業生からの答辭は、一人ずつ発表します。トップを切って、3年間学級委員長を務めた□□さんが語り始めます。後は一人ずつ、入学式、対面式、オリエンテーション合宿、初めての定期考査、校外学習、文化祭、体育祭、部活動について発表していきました。次にここまで育ててくれた保護者への感謝の言葉

# 令和2年度卒業式 さまざまな感染拡大防止対策を施して挙行

## 本縁スピーチ

いよいよ最後です。卒業生は一人ずつ教卓から仲間と保護者に向かってスピーチを



のあと、元生徒会長の□さんから先生方へのお礼の言葉があり、これからの抱負を語りました。

そして、最後に仰げば尊し、螢の光演奏です。音楽に合わせて、67枚の写真がスライドショーで大画面に映されました。3年間の思い出が次々に浮かんできます。

閉式が宣言され、担任が選んだコブクロの「卒業」が流れる中、退場を始め、在校生から一人ひとり色紙と花束をもらっていきました。教室に帰って、後輩から贈られた色紙に見入っていました。



しました。3年間のお礼を仲間に、そして、15年間のお礼を保護者に述べていきました。中には感極まって涙拭いながら語った人もいました。

「毎日、お弁当を作ってくれてありがとうございます。」「文句ばかり言ってすみませんでした。」「これからはもっとしっかり生活します。」□□は生徒名です。



その発表を聞きながら、生徒たちの精神的な成長をしみじみ噛みしめることができました。